



みさき

23号

美咲町議会だより

主な内容

12月定例議会審議内容

各常任委員会から報告

行政課題への取り組みをたずね

議員13人が一般質問

柵原総合支所移転など大型補正

22年度2月臨時議会報告

4 5

6 18

19

議会活性化と行政課題に向けた取り組みを強化

議長あいさつ

年頭所感



三船 勝之 議長

年頭にあたり議会を代表してごあいさつを申し上げます。

昨年は円高などの影響もあり、日本経済の回復・雇用の改善・デフレの脱却も見えない不透明な一年でありました。

昨年末には国の新年度予算が閣議決定され、その内容は、国債発行が収収を上回るという財政の健全化には程遠いものであります。

歳出では、3歳未満の子ども手当を月額二万円に上積みするなど、社会保障関係費が二十八兆円に膨らみ、その財源も明確ではありません。一方では大企業を優遇する法人税率を引き下げるといったものです。

地方の産業は、法人税引き下げによる恩恵がありません。これでは消費税10%を導入すれば、地方の企業は負担が増え、大変厳しい状況になるものと思われます。

特別交付金の有効活用

本町は、中央中学校の建設も順調に進み、昨年末には国から三億八千万円程度の経済対策特別交付金内示があり、早急に予算化し施策を実施することにより、町内産業が少しでも元気になるものと期待するものであります。

行政課題への

取り組みは急務

本町の課題は、人口減少の歯止め対策・超高齢化社会を迎え高齢者の健康対策・福祉の充実・農業の担い手不足の解消。これらの行政課題への取り組みが急務であります。

議会活性化へ

特別委員会を設置

私たち議会は、12月定例会で議会改革特別委員会を設置いたしました。政策立案・議会提案などを始めとして、調査・研究をし、開かれた議会・町民に身近な議会を目指し、活性化に取り組んでまいりますので、町民皆様のご意見、ご指導を賜りますようよろしくお願いいたします。

本年が、町民皆様にとって最良の年となりますようご祈念申し上げます。

議会改革特別委員会

22年12月定例会において議会活動の調査・研究を目的とする議会改革特別委員会を設置した。

◎委員長

岡田 壽

○副委員長

岩野 正則

金谷 高子

松田 英二

染山 朝子

小島 洋征

松島 啓

日神山定茂

12月 定例会 の報告

12月10日から22日まで

定例会が招集され、22年度一般会計補正予算など予算17件、その他4件の議案が上程された。

計画書の策定および変更

計画書の策定および変更が上程され、審議の結果全会一致で承認した。主な内容は次のとおり。

過疎計画を新たに策定

◎美咲町過疎地域自立促進市町村計画

21年度末で終了した過疎地域自立促進特別措置法が6年間延長されることとなった。このため22年度～27年度の6年間で言う美咲町事業の実施計画を新たに策定した。

辺地計画の新設および変更

◎辺地に係る公共的施設の総合整備計画



急がれる山間地域の道路整備（高城地内）

設の総合整備計画に、「高城辺地」を追加し、「角石祖母辺地」「和田北辺地」「大山辺地」をそれぞれ変更する。

人事案件

◎人権擁護委員の選任

人権擁護委員の任期満了に伴い委員の選任に同意した。（再任）

美咲町吉ヶ原
石戸 久江氏

請願・陳情・要望

敬称は省略させていただきます。

柵原中学校吹奏楽部の存続を求める請願

（紹介議員：下山和由）
「民生教育常任委員会付託」

柵原中学校PTA

会長 端戸淳子

生徒の情操教育の環境としても不可欠なものであり全会一致で採択とした。

TPPの参加に反対する請願

（紹介議員：梁山朝子）
「産業建設常任委員会付託」

岡山県農民運動連合会

会長 坪井貞夫

食料自給率の向上などに反するものであり全会一致で採択とした。

採択とした。

津山地区木材組合
理事長 難波芳英
森林整備の重要性を考慮し、全会一致で採択とした。

商工会振興事業補助金予算措置の要望

「産業建設常任委員会付託」

久米郡商工会

会長 西本和馬

地域経済活性化の必要性を認め、全会一致で採択とした。

議員発議

環太平洋戦略的経済連携協定（TPP）の加入に反対する意見書

我が国の食料自給率を急落させ、国内の農業生産に壊滅的打撃を与えるTPP交渉参加に断固反対する。

この内容を強く求める意見書を日本政府に対して送付した。

最低保障年金制度の制定を求める意見書の採択を求める請願

（紹介議員：梁山朝子）
「民生教育常任委員会付託」

全日本年金者組合
岡山県本部

委員長 東都支男

いずれの請願も趣旨は理解できるが、財源などに大きな課題があり、全会一致で趣旨採

保育制度改革に関する意見書提出を求める陳情

「民生教育常任委員会付託」

岡山県労働組合会議
議長 花田雅行

国の方針が示されていない現状では判断が難しく、全会一致で趣旨採択とした。

木材業界への行政支援の要望

「産業建設常任委員会付託」

常任委員会から

総務

**繰入金・町債を
7億4000万円
減額**

一般会計補正予算案
件など7件を審査した
結果、予算4件、その
他3件を全会一致で承
認した。

◎一般会計補正予算

歳入歳出から二億五
千三百三十五万円を減
額し、総額百十六億三
百八万円とするもの。

【主な歳入】

- 地方特例交付金
二千四百九十万円増
- 地方交付税
六億九千二百
六十万円増
- 国庫支出金
二億千二百四十万円減
- 県支出金
千九百十万円減
- 繰入金
五億三千五百万円減
- 町債

二億千万円減

【主な歳出】

- 基金積立金
一億円
- 公用車購入費
百三十八万円
- パソコン購入費
百三十八万円
- みさきネット繰出金
千三百五十七万円
- 防火水槽補修費
百九十五万円
- 情報公社負担金
百四十五万円
- ◎特別会計補正予算
みさきネット事業
○サーバー更新など
二千一万円
- バス運行事業2特別
会計は、予備費による
予算調整が主なもの。

主な質疑応答

【総務課】

問 公共の施設、車
両などに加入する
保険料はどのくらいか。

答 457公共施設
で五百十二万円、
車両160台で三百九
十一万円、全国町村会
総合賠償補償保険百五
十二万円など。

【企画財政課】

問 総合評価方式の
入札に指名競争は
そぐわない。一般競争
入札で実施すべきでは。
答 指名委員会で検
討する。

【情報交通課】

問 パソコンなどを
更新する際、古い
機器はどうするのか。

答 使用可能なもの
は継続使用し、不
用なものは処分する。

【税務課】

問 個人町民税の減
額がある一方で、
法人税は増額となつて
いる。その要因は。

答 推測だが個人は
失業者の増加によ
る。法人は景気の回復
が考えられる。

民生教育

**子ども手当制度
一本化に
1000万円**

一般会計補正予算案
件など9件を審査した
結果、予算案は全会一
致で承認した。請願1
件は採択、請願2件と
陳情1件は趣旨採択と
した。

◎一般会計補正予算

【主な歳出】

- 国民健康保険繰出金
二百六十四万円
- グループホーム^{もも}百お
よび白寿荘の防火施設
整備補助金など
二千五百八十七万円
- 各老人憩いの家カー
テン、消火器の取替え
百六十一万円
- 子ども手当制度一本
化
九百九十八万円
- 保育所広域入所委託
料など
八百十九万円
- 中央中学校建設工事

費の本年度精査分
五億円減

○エイコン図書館の視
聴覚施設機器買替など
百七十万円

◎特別会計補正予算

国民健康保険事業な
ど4特別会計は、給付
費の伸びによる増額補
正が主なもの。

主な質疑応答

【健康増進課】

問 子宮頸がんワク
チンの接種を高校
生まで無料にしている
自治体があるが、本町
は考えていないか。

答 低年齢の接種が
効果的とされている。

【保健福祉課】

問 高齢者などの緊
急通報装置の設置
状況は。



年々かさむ更新費用、加入促進に全力を
(みさきネットコンピュータ室)



富田泰司氏の遺志が文庫に

【答】 中央地域に53台、旭地域に69台、柵原地域に65台。

【住民課】

【問】 柵原地域の保育園統合の説明会の状況は。

【答】 保育園PTAと、柵原区長会で説明した。2園にした場合の跡地利用などの意見が出た。

【教育総務課】

【問】 富田泰司教育福祉振興基金の使い道は審査委員会で決まったか。

【答】 町内の3図書館に富田泰司文庫をつくる。子どもたちの書道展などの開催。また健康増進に効果があるものなどを考えている。

【生涯学習課】

【問】 旧打穴小学校に民具などを展示する予定をしていたがどうなっているか。

【答】 展示物のデータで計画は策定中。施設の大改造は行わずに対応する。

産業建設

有害鳥獣駆除に

300万円を

追加

一般会計補正予算案

件など13件を審査した結果、予算案は全会一致で承認した。請願1件、要望2件は共に採択とした。

◎一般会計補正予算

【主な歳出】

○太陽光発電補助金

三百万円

○有害鳥獣駆除費

二百九十一万円

○県事業負担金

二千六百八十五万円

○町道維持費

千二百一十万円

○町道改良費

二千六百三十万円

○みち整備備費

四百九万円

○河川改修費

三百万円

○中央下水道繰出金

二千八百四十万円

○農地災害復旧費

八百七十四万円

◎特別会計補正予算

統合簡易水道事業

○江与味水道移転

六百十六万円

中央簡易水道事業

○雷被害補修など

六百三十六万円

打穴大井和簡易水道

○移設および維持補修

九百四十万円

中央公共下水道事業

○下水道管敷設

二千八百四十万円

中央北部簡易水道など5会計は、軽微な組

替による予算が主なもの。

■主な質疑応答

【上下水道環境課】

【問】 石綿管の調査は実施しているか。

【答】 町内の水道管は100%改修済み



「みち停」の予定地を視察する産業建設委員（旭総合支所庁舎東側）

である。

【問】 23年度の水道料金はどうなるのか。

【答】 経営努力により現状維持を確保する。

【産業観光課】

【問】 有害鳥獣の駆除を自衛隊OBに依頼しては。

【答】 猟友会のメンバーと協議する。

【建設課】

【問】 辺地の道路幅は3m程度で問題な

いのでは。

【答】 5mの国基準があり狭くはできない。

■現地を確認

本年度整備を進めている町道、林道および残土処分場「みち停」（旭地域休憩所）の整備状況についてそれぞれ現地確認を行った。

問う

一般質問

議員が町の執行部に対してさまざまな角度から町政について質問する

質問

柵原総合支所周辺に
活気を取り戻せ

官・民一体となった
取り組みが必要

答弁



草薙良明 議員

問

合併後5年が経過し、JA、労働

金庫、郵便局の移転、縮小などもあり柵原総合支所周辺が非常に寂

しく活気が無くなった。文化協会・星の里

スポレククラブなどが頑張っているが常時と

はいかない。柵原中心部の町おこしとなる施策の取り組みをどう考

えるか。

答

中西柵原総合支所
長

合併後、柵原地域の人口減少率が一番高い

答

現状においては携帯電話の活用が最も有効であると考えて、携帯電話の不通地帯をなくすべく、企業に対してアンテナ設置の要請を進めている。また、国のモデル事業であるサポート福祉の組織などで高齢者の見守りを行っており、さらなる組織強化を図っていく。

幸な出来事があり、また、山菜採りに出かけた人が3日後に発見されたという事例があった。一人暮らしの高齢者が増加する本町にあつて高齢者の見守りにGPS発信機、携帯電話の活用は有効と考えるが町の対応はどうか。

定本町長

答

地域を活気づける方策について職員一丸となって考えている。住民の方々からの協力を強く願う。

定本町長

高齢者の見守りに

GPS・携帯電話

の活用を

問

町内で高齢者が行方不明となる不

小・中学校の

学級崩壊は

心配ないか

問

学級崩壊・いじめなどから自殺にいたるといふ悲しい報

答

今すぐ心配するような学級はない。教育委員会、学校現場、保護者との連携を深めて小さなトラブルは初期の段階で早期解決に努めている。また、学校ボランティア、学校運営協議会などの組織を通じて地域の情報収

道があつた。町内の学校は大丈夫か。大事にならないための連携は充分に取れているか。

泉教育長

問

問題発生の前段階において「道徳教育」にもっと力を入れるべきではないか。

答

「人とのつながり、社会とのつながりで自分がある」という指導方法、実践事例を各学校に周知して徹底を図っている。

泉教育長



どう変わる柵原総合支所周辺

町政を

質問

職員のさらなる意識改革を

責任感を持った

職員を育成する

答弁



下山和由 議員

問

職員は行政のブ
ロであると町民か
ら視線が注がれている。
住民から不信感や疑
問を持たれないよう
に、自信と誇りを持
つて業務に務めるため、
職員の意識改革をどう
考えるか。また、課と
課、管理職と職員の連
携は取れているのか。

答

杉山総務課長
企業意識を持つ
た職員となるよう県内
外で年4回の専門的な
研修活動、外部から講
師を招き意識の高揚を

図っている。また、幹
部会議で全体を協議し
連携を図る体制づくり
を心がけている。

答

定本町長
汗を流し、気を
配り、知識を高めて責
任感を持つて仕事に取
り組むように、研修を
通じた職員の意識向上
を図っていく。

問

平成23年7月23
日をもってアナロ
グ放送が終了、それ以
降は現在のテレビが見
られなくなる。町民の
中には対応に迷ってい
る人もいる。今こそ職
員一丸となって加入促

みさきネットへの
加入促進を強力に

進に努力すべきであ
る。加入率が最低でも
70%以上になってこそ
合併記念事業として三
十四億円もの巨費を投
じた真価が得られる。
対策を急げ。

答

遠藤情報交通課長
みさきテレビを
視聴されている人は22
年10月末現在で51・8

%。今後も告知放送、
みさき広報などで周知
徹底を図り、加入率の
向上に努める。

答

定本町長
現在、(社)岡山中
央総合情報公社から出
向を受けた二人の職員
により機器の修理と加
入促進を行っている。
加入率の向上に努力し

ていく。

町民カレンダーの
作成は

問

みさき広報には
一カ月間の町行事
予定を掲載している。
行事が多く開催日が重
なり町民もとまどつて
いる。もう少し早めに
周知する必要がある。

答

定本町長
一年後の行事日
程を決定したカレンダー
の作成は、難しい面
があるためこれまで作
成できていないが、三
カ月程度の行事予定は
広報に掲載していくよ
うに考えていきたい。



職員の研修風景 (美咲町役場本庁大会議室)

質問

休耕地の再利用に

向けた対策は

農業公社などを

中心に対策強化

答弁



日神山定茂 議員

問

休耕地の再利用を行政が仲介することはできないか。また、耕作放棄地の再利用に補助金を出して、耕地の荒廃に歯止めをかけるべきではないか。

答

矢木産業観光課長
行政の仲介は、

本年度から農地利用集積円滑化事業が始まっている。これは、行政が農地所有者の委任を受けて農用地の売り渡し、交換、貸し付けなどを行う事業である。補助金は、中山間地

答

定本町長

域等直接支払制度と耕作放棄地再生利用交付金がある。
休耕地の再利用については、国・県の事業と連携しなければ町だけではできない。今後は農協、農業公社を中心に耕作放棄地も含めて対策を強化していきたい。

問

旭地域に「みち停」の建設が計画されているが、当初計画していた場所が変更されたのは何故か。

「みち停」建設はベストな運営方法で

答

定本町長

当初の計画で



変わる旭総合支所周辺（みち停建設予定地）

問

旭地域に「みち停」の建設が計画されているが、当初計画していた場所が変更されたのは何故か。

事業を進めるに
ついては、効果を考慮したベストな運営方法を検討することが望まれる。

答

定本町長

は、JA津山旭支店駐車場の一角に整備する予定であったが、住民の大多数から反対意見が出たため、旭総合支所東側の駐車場に場所を変更した。
総務省から七千二百万円の交付金をうけ、これを有効利用するために特産物の販売所を建設する。特産品の開発を行い、集客を図るためにバス停を移し、地元自治会の協力を受けながら将来的には会員制の自主運営を目指していく。

学校現場の

見守りにゆとりを

問

学校における教員の仕事が増加したことにより、児童・生徒との交流が少なくなり、いじめ、虐待の発見が遅れるのではないかと危惧される。しっかりと見守りはできているか。

答

泉教育長

学校現場では、従来の仕事に加えて学校の果たす役割が多くなっており、教師の負担も大きくなっている。現在、学校行事や事務処理などを見直して児童・生徒との触れ合いの時間を増やす工夫をしている。
いじめや虐待防止対策については、学校訪問を度々行い、現状把握に努めている。校長、教頭、教員との連携も深めている。

質問

地域医療に

どう取り組むのか

施策充実で実情に

即した対応を図る

答弁



角南憲一 議員

強く要望している。

健康に関心を

持てる施策に

問

国民健康保険財政の安定化を図るため、市町村国保の運営を都道府県が一元的に管理する国保の広域化は進展しているのか。

答

福田保健福祉課長
岡山県国民健康

保険支援方針が12月中旬に策定される見込みである。市町村国民健康保険を県単位に広域化する際には▽制度の運営は県が責任を負う▽施策を具体化する時は市町村の意見を十分反映させる。このことを

問

高血圧の男性は、正常値の人よりも40歳の場合で平均余命が1・7年短く、生涯医療費は三百七十六万円かかる。医療費の自己負担が三割とすれば百万円以上の損となる。また、一日に一時間未満しか歩かない人は、一時間以上歩く人に比べて平均余命が1・5年短く、生涯医療費が七十五万円多くなるという調査結果が公表された。

住民が健康に対する関心を高めるため、敬

答

定本町長

老の日に配る商品券を血圧計、万歩計、体重計などに変更してはどうか。

敬老の日を送る記念品については、前向きに考えてみたい。

高齢者介護の

方針は

問

特別養護老人ホームが全国に六千施設あり、四十二万人の入所者があると同時に待機者も四十二万人いる。町内の特養老人ホーム吉井川荘でも百人近い待機者があると聞く。今後の高齢者介護をどのように考えているのか。

答

定本町長

直近の国の方針は在宅介護から施設介護へと変化している。本町では、特別養護老人ホーム吉井川荘・白寿荘に各20床の増設、あさひが丘に25床を新

設する。施設介護の充実で対応する。

へき地医療の

改善策を

問

町内の休日当番医は4医療機関しかない。一方、倉敷市の川崎医科大学附属病院には深夜でも十七人の医師が常駐している。全国的には二万四千人の医師不足が言われている。

答

定本町長

れている。取り残される地方にあつてへき地医療の改善策についての考えはどうか。



旭地域に高規格救急車の配備を（西川診療所）

質問

指定管理制度の
検証はできているか

23年度更新時に

見直しを検討する

答弁



貝阿彌幸善 議員

問

指定管理者制度で施設の管理を委託する受け皿、委託範囲、委託金額などの検証は行っているか。また、類似した施設でも直営と指定管理に分かれている現状への対応策は。

答

難波企画財政課長 亀太郎ロビー、

緑花公園の管理について23年度契約更新時に管理者と協議する。

答

矢木産業観光課長 亀甲駅、物産センター、林業センター、

答

池本建設課長

紅そば亭、棚田公園、鉾山公園、香花温泉、南和気荘の管理について23年度更新時に見直す。

定国公園、藤原いこいの森公園の管理について検証した結果、適切と判断した。

答

菅尾生涯学習課長

九カ所の管理について組み替え、見直しを23年度契約更新時に管理者と協議する。

答

村島健康増進課長 社会福祉協議会

に委託している施設は、老朽化による修繕が必要であり今後検討する。

答

定本町長 直営の施設と指



公共施設は大変だ（中央総合運動公園）

地元業者育成の

配慮は

問

中央中学校新築、吉井川荘増築など大型建設工事が発注されたが、受注した大手建設業者に対して地元業者への下請け発

定管理の施設で、矛盾もでているため23年度までに見直す。

答

定本町長

注の配慮はなされているか。

美咲町建設業者指名要領には地場産業の育成を明文化しており、受注業者に対して町内業者の下請けをお願いしている。現在把握している状況は、中央中学校6社、吉井川荘2社、あさひが丘4社である。

入札制度における
総合評価方式の
活用は

問

入札制度改革で総合評価方式が導入されたが、どのように活用されたのか。評価点の内容はどうなっているか。

答

形井副町長

国が示す地方公共団体向け総合評価実施マニュアルを参考に検討を重ね、本年10月に国の補助事業2件について総合評価入札を実施した。施工実績、技術者の資格、地域貢献度などを評価点とした。

問

工事完成度の高さなども評価に加えるべきではないか。

答

形井副町長

今後、さまざまな評価について指名委員会でも検討を重ねる。

質問 定住自立圏構想の 実現を図れ 各分野での連携を 呼びかける 答弁



松島 啓 議員

問 3大都市圏への人口流出を食い止める、地方圏への人口の流れを創出する「定住自立圏構想」。

本町は、津山市を中心に周辺市町村と公共交通の分野で連携する計画と聞いていた。観光および産業振興での連携も必要と思うが計画は進んでいるか。

答 定本町長

この構想は、中心市の津山市が宣言しなければ進まない。公共交通の効率化、観光・産業振興、医療、スポーツなどの分野で連携が期待できる。良い制度なので津山市に呼びかけていきたい。

文化・芸術振興策 に支援を

問 第25回国民文化祭が無事に終了した。これを機に、今後さらなる文化・芸術の振興が期待される。今後の振興策は。

また、文化・芸術活動の後継者不足が心配

されているが、支援策はないか。

答 泉教育長

今回の国民文化祭は、町内3地域で開催した。

地域の伝統文化と自然の恵みを生かした生活の営み、それを続けて来た人々が中心となり活躍した。今後も活



地域文化の継承はみんなの心の積み重ね (旭地域文化祭)

学校2学期制の 検証は十分か

検証は十分か

問

平成18年度から町内の全小・中学校に導入した学校2学期制。教育課程を組む上で、制度の意義を十分検証しているか。

また、導入から5年目になるが、学力向上に結びついていくか。

答 泉教育長

23年度で2学期制の導入から6年が経過する。

制度に関するさまざまな意見が寄せられている。各種会議でも協議している。

来年度に各方面の意見を集め、教育審議会などに諮っていく。

みさきテレビで 教育番組を

教育番組を

問

みさきテレビの加入率が、23年7月のデジタル化に向けて上がってくると予測される。その時期に合わせて、さらに番組内容を充実すべきではないか。

答 定本町長

教育番組は来年度から行ってみよう。住民参加の番組は、最小限のスタッフで撮影・編集しており難しい。

答 遠藤情報交通課長

各種講演の放映は、講演者の承諾を得れば可能である。

質問

こども園制度新設

への対応は

国の方針が示された

段階で考える

答弁



松田英二 議員

問

政府において、幼稚園と保育園を

一体化させる「こども園」新設の協議が行われているが、制度が実現した後に本町はどう対応するのか。

答

定本町長

現時点では政府の方針が何も示されていない。制度の詳細が出てきた段階で対応を考えていく。このため、町内の保育園については現行の保育制度の中で運営していく。

問

幼児教育の重要性を考えると、町教育委員会がもっと強い関心を持って教育重視の対応を図るべきではないか。

答

泉教育長

教育現場においては、保育園・小学校・中学校がそれぞれ連携しながら活動している。今後は教育委員会も保育園とのつながりを持って進めていきたい。

問

林野庁は22年10月に「公共建築物などにおける木材の利

木材の需要を高めて森林整備の加速化へ

用の促進に関する法律」を施行した。公共施設の木造化を進めることによって森林整備を加速させるための法律である。

本町において、森林伐採→資材搬送→部材加工→木質バイオマス製造を一体的に行う産業体の組織づくりはできないか。

答

矢木産業観光課長

間伐材の有効利用については、久米郡森林組合において、さまざまな努力を続けてもらっているが、産業体の組織づくりまでは検討できていない。

問

今後、本町の公共施設建設に際しては、先の法律に沿う形で町産材の有効活用を積極的に行っていくべきではないか。

答

定本町長

現在でも中央中学校などの建設に多くの木材を使用しており、今後についても同



あとはどねえするんなら？（藤原保育園）

公共施設跡地の積極的活用を

問

柵原総合支所周辺整備基本プランの策定が進められてい

答

定本町長

施設整備に際しては関係者で検討委員会の設立を考えており、跡地活用についてもその中で協議していきたい。

4月～11月の駆除頭数	
イノシシ	588頭
ヌートリア	142頭
シカ	38頭
駆除費用	780万円

答 矢木産業観光課長
今年有害鳥獣駆除頭数は表のとおり。

問 異常気象などによる被害が頻発している。今年の駆除状況はどうなっているか。



山本宏治 議員

質問 鳥獣被害対策に
猟友会の育成を
免許取得PRなど
体制を整える

答

答 定本町長

現在、猪一頭につき一萬円の駆除費を支給している。

問 鳥獣を駆除する猟友会会員の減少と高齢化が進んでいる。役場やJAの若手職員に対して猟銃免許取得のPRを行い、免許取得に要する費用を補助する考えは。

また、出勤時における準公務員的な身分保証はできないか。

猟銃や罠の免許取得にかかる費用はある程度町が負担する方向で考える必要がある。その上で若い人達に免許取得のPRを行っていききたい。



お世話になります 猟友会の皆さん

答 矢木産業観光課長
美咲町猟友会の会員数は百三十六人、平均年齢は66歳と高齢化が進んでいる。捕獲作業時の身分については、町長が鳥獣被害対策実施隊員として任命すれば非常勤公務員として位置づけられるが、細かな条件があるため関係者と協議する必要がある。

問 独居世帯の緊急時にはどう対応するのか

答 村島健康増進課長
近隣市町村では、緊急医療情報キッ

独居老人宅において急病などの緊急時に、駆けつけた救急隊員が即時に対応できるような施策はとれないか。

津山市の一部自治会では、圏域消防組合と連携を持ち、独居所帯の家庭に、掛かりつけの病院名、治療中の薬、緊急連絡先などが書かれたものを冷蔵庫に張る取り組みを行っている。本町の対応はどうか。

答 定本町長

本町では、高齢者の緊急連絡先台帳を800件程度整備している。今後は、民生委員などの協力を受けながら、この台帳と緊急キットなどを使ったシステムづくりを進めていきたいと考えている。

トのようなものを利用して、社会福祉協議会が実施しているところもある。取り組み方がまちまちであるため統一された方法は確立されていない現状である。

問 津山市の一部自治会では、圏域消防組合と連携を持ち、独居所帯の家庭に、掛かりつけの病院名、治療中の薬、緊急連絡先などが書かれたものを冷蔵庫に張る取り組みを行っている。本町の対応はどうか。

質問 自然エネルギーで まちおこしを ビジョン策定委員会 で研究する

答弁



金谷高子 議員

問

地球温暖化が重
大な課題になつて
いる。

自然エネルギーの普
及は、大量の温室効果
ガスを排出する化石燃
料の使用量を減少させ
地球温暖化を防止する
と共に産業振興、経済
成長にも貢献する取り
組みである。これらに
関連して

①エネルギーに対す
るアンケートを実施し
たが回答率は。

②本町の自然エネル
ギーを活用した「まち
おこし」ができないか。

③本町の地球温暖化
対策は。

④小・中学校に太陽
光発電設置の計画は。

⑤小・中学校での環
境教育は。

⑥野外焼却禁止に対

答

矢木産業観光課長

する本町の状況は。
①千二十人にア
ンケートを実施し、回
収率は51%。五百二十
人から回答を得た。

答

定本町長

②※NEDOか
らの専門家を交えて美
咲町新エネルギービジ
ョンを23年3月までに
完了させる。この中で
考えていく。

※新エネルギー・産業技
術総合開発機構

答

赤堀上下水道環境
課長

③23年度までにCO₂削
減3・2%を目標とし
ており、クリーンエネ
ルギー自動車、住宅用
太陽光発電購入へ補助
金を交付するなど対
応している。

答

泉教育長

④美咲中央小学
校、中央中学校へ各10
キロワットのソーラー
パネルを設置。他の学
校は具体化していない。
⑤エネルギー循環、



美咲町でもクリーンエネルギーの活用を（倉敷市西之浦浄水場の太陽光パネル）

答

赤堀上下水道環境
課長

生物の多様性、温室効
果ガス、地球温暖化な
どの教育を進めている。
⑥年間を通じて数件
の問い合わせ、通報が
ある。内容によっては
警察同行の上で調査を
行っている。

問

柵原文化センタ
ー、旭町民センタ
ーに配置されている
机、椅子などの備品が
老朽化している。年間
の利用者は一万人を超
えており、その大半は

集会施設備品

老朽化に対策を

答

定本町長

高齢者である。安全面
からも早急な改善が必
要ではないか。
柵原文化センタ
ーについては、総合支
所移転に伴う改修工事
に合わせて考える。旭
町民センターについて
は現状を調査した上で
検討する。

駐輪場の
施設改善策は

問

高校生などが多
く利用している原
田の駐輪場に屋根の設
置はできないか。また、
放置自転車はどうする
のか。

答

定本町長

近隣の民間駐輪
場と競合するため屋根
の設置はできない。亀
太郎会館の駐輪場を利
用したい。

答

杉山総務課長

放置自転車は、
所有者に対して引き取
り依頼を行っている。

質問

学校施設への 冷房対策を急げ すべての学校へ 夏までに設置する

答弁



梁山朝子 議員

問

今年の猛暑は耐え難い状況であった。教育環境整備のため各学校へクーラーの設置が必要ではないか。

答

定本町長

今回提案した補正予算に財政調整基金一億円を計上してい

る。これを財源としてすべての学校へ夏までには冷房設備を設置する。

柵原総合文化
センターへは

最新の設備を

問

柵原総合文化センターの改修工事に際しては、エアコンの改修、床の改修、医療用トイレの新設などに力を入れ、机・椅子を運搬しやすいものに變更するなど新築レベルでの整備を願う。

答

中西柵原総合支所長

築後25年が経過し、大規模改修が必要な時期であり、支所の移転に合わせて改修し、備品についても再度点検して対応する。

答

定本町長

柵原総合支所周辺再編整備について地域の皆さんに説明会を開催している。これに

伴って地域の意見を聞きながら対応を図っていく。

保育士の
正規職員を増やせ

形成の基礎を作る

問

幼児期は、人格形成の基礎を作る大切な時期である。保護者が安心して預けられるように、また保育士が安定した職場で働けるように正規職員の採用を急ぐべきではないか。

答

定本町長

21年度と22年度で二人ずつ正規職員を採用している。せめてクラス担任は正規職員にという方向をもって対応しており、財政的に余裕ができれば少しずつでも増やしていきたい。

問

現在の保育園では就学前教育が実施されているが、小学校入学はスムーズに対応できているか。

答

定本町長

保育士が作成したカリキュラムによりスムーズな入学ができている。

若者への
就活支援は重要

産業支援係が設

問

置されているが、

若者に対する就職活動にもっと支援が必要ではないか。

答

定本町長

町内に住み、町内で生活している若者に対して留町奨励金という制度を新設し、来年度予算で実現していきたい。



先生大好き おやつ大好き

質問

23年度に水道料金は
値上げするののか

経営努力で現状を
維持する

答弁



岩野正則 議員

問

柵原、中央、旭
地域の空き家調査

空き家の調査は
完了したか

答

定本町長

空き家情報を求める人々からの要望があるため、公表可能な情報は商工会へ情報

答

難波企画財政課長
本年11月末の時

点で、柵原地域は18
1件、中央地域は30件、
旭地域は21件の調査が
それぞれ完了している。

問

空き家の所有者
が抱えている諸々
の問題解決策を考えた
上で、固定資産税の納
付通知書と一緒に空き
家の活用依頼の手紙を
送付してお願いするな
ど、町としても推進す
るべきではないか。

答

定本町長

崩壊寸前の空き
家などは危険性、美観
上も問題である。個人
の財産なので持ち主の
意向もふまえて検討し
たい。

答

定本町長

現在、滞納金の
徴集については各担当
課でさまざまな努力を
続けている。町村にお
いて専門課を設けるの
は難しい。

問

産業支援係の具
体的成果は上がっ
ているか。

答

矢木産業観光課長
産業課全体で産
業支援をしていると考
えている。たまごまつ
り開催、幸福レンガの
作成、ピオーネ箱の無
料配布による宣伝効果
などで産業への支援を
行っている。

問

職員提案制度は
十分に機能してい
るか。

答

定本町長

職員提案制度に
よって斬新な意見も出
てきている。また、五
十人委員会の結論も出
たので、これらを参考
にして来年度予算に反
映させていきたい。

答

赤堀上下水道環境
課長

問

水道施設の老朽
化と給水人口減少
に対する見通しと対応
策は考えているのか。
また、23年度水道料金
は改定するのか。

人口減少による水需
要の縮小、施設老朽化
に伴う修繕費用の増加
が予想されるが、七つ
ある簡易水道の統合を
含めた整備計画を進め
経営安定化を図る。水
道料金は経営努力を続
けて、現状を維持する。



古くなった水道管

課題解決に向けた
取り組みは

問

滞納金・未収金
の解決に向けて専
門の部署を作るか、各
課の連携を密にして滞
納金を減らすべきだ。
数値目標を設定すべき
でないか。

質問

協働のまちづくりに

職員の配置を

3地域に担当を

配置している

答弁



岡田 壽 議員

問

協働のまちづくりは、住民と行政が知恵と力を出し合い、地域の課題を解決する活動である。協働のまちづくり事業は、町内全域で運営が十分なされているか。行政は役割を果たしているのか。

町内には81自治会・区があるが、中には活動に悩む組織がある。自治会・区単位に役場職員を配置して活性化を図るべきではないか。

答

難波企画財政課長 協働のまちづくり事業は、21年度から2期目に入り、旧村単位の13自治組織を結成し組織全体で取り組むまちづくりを実施している。

答

各組織が地域の課題を発掘することから各事業に取り組んでおり、今後とも発展していくものと考えている。それぞれの地域力に差があることは承知しているが、できることから始めていきたい。

定本町長

旧町単位の協働のまちづくり担当職員を一人ずつ配置している。

他市の例を見ると各

自治会単位で職員を配置した時、職員ばかりが頼りにされて逆に地域力が落ちることもある。このため現状を維持する。

町内で買い物、

町内に発注、

みんな元気に

問

国も地方も経済不況の時代である。農産物の地産地消に習い、買い物、工事など町内で調達できるものは全て町内で利用する。これが実現できれば町内の商工業者も住民もみんな元気になるかと考える。町民全員参加による「地産地商」を勧めるべきである。

答

一般的には買い物もレクリエーション化し、地元商店と量販店を区別して買い物をしているのが現実であ

る。

行政としては、できるだけ町内業者への購入、発注を心がけて活性化に努めている。

問

県では、毎月5の付く日を「岡山地産地消の日」と決めて、運動を始めている。本町においても地場産物の優先購入を積極的

る。

答

定本町長 これまでも緊急経済対策により学校施設へのテレビ購入、吉井川増築工事における備品購入、建設工事の下請け優先発注など、極力地元優先の活動を続けている。今後



「地産地商」でまちおこし（どんとこい収穫祭）

質問

行政の内部統制を

どう考えるか

法律に基づいて

適切に指示している

答弁



小島洋征 議員

問

このところ役場内が暗くなったり、事務処理が遅れているのではないかと、住民からの声を耳にする。その原因として内部統制・指示命令系統が機能していないのではないか。

幹部会議も定期的に開かれているものと思うが、町民の「おやじ」たる町長は信念を持って行動してもらいたい。その信念に基づいて職員にはどのような指示を出しているのか。

答

定本町長

そして、組織の隅々まで行き渡るように指示が出されているのかどうか町長の考えを聞きたい。

役場が暗くなったとこのことだが、私が聞く限りではむしろ明るくなったと聞いている。また、声を耳にするというような抽象的な批判には答えようがない。

幹部会も定期的に行っているが、これは内部の調整会議であつて公開すべきことではない。

職員組合との交渉も数回行ったが、以前と比較して職場環境が改善されたと言われている。

感謝されている。

職員に対しては、法律に基づいた仕事をするように指示している。法律を守ることを当然のこととして実行し、職員からの提案も受ける中で町民のためになるようにと頑張っているところである。

財務規律を

どのように考えるか

問

平成21年度決算における監査委員の指摘事項として「財務規則から逸脱した事実案が認められる」と指摘した。

この扱いをどのように考えているのか。

答

定本町長

美咲町財務規則第24条4項に「性質上納付前に調定できない歳入は事後調定に付すべき」との規定がある。この規定に該当するものと解釈して歳入調定に上げなかったもので



にらめっこしましょ (写真は本文と関係ありません)

問

その解釈は間違っていると思う。美咲町財務規則や地方自治法を調べてみたが、法令違反の疑いが極めて強いと思われる。

答

形井副町長

調定とは、歳入が適正であることを示す手続きだが、今回は不当利益を返却しても

※三船議長

この件については、是非を調査して、後日議会全員協議会などで報告するものとする。

組合議会からの報告

組合議会は、行政上の目的別に他の市町村と共同で事務処理を行い、目的の事業を効率的に行う団体組織です。

津山圏域 資源循環施設組合

(津山市、勝央・奈義・鏡野・久米南・美咲町)

11月16日から翌年1月18日までの会期で定例会を開催し、条例1件、21年度一般会計決算認定、予備費などを追加する22年度一般会計補正予算三千七百六十三万円の3議案が上程され、条例および予算は全会一致で、決算は賛成多数で可決、承認。

津山広域事務組合

(津山市、勝央・奈義・鏡野・久米南・美咲町)

11月24日、定例会を開催し、21年度一般会計決算認定、21年度特別会計決算認定の2議案が上程され全会一致で可決、承認。

津山圏域消防組合

(津山市、勝央・奈義・鏡野・久米南・美咲町)

11月24日、定例会を開催し、専決処分、火災予防条例改正、21年度会計決算認定、旭出張所浄化槽改良工事費二百八十万円・予備費二千七百二十万などを追加する22年度補正予算三千三百四十六万円の4議案が上程され全会一致で可決、承認。

津山農業 共済事務組合

(津山市、鏡野・久米南・美咲町)

11月24日、定例会を開催し、21年度会計決算認定、21年度決算監査報告の2議案が上程され全会一致で可決、承認。

臨時議会の報告(2月1日)

国の「きめ細やかな臨時交付金」、「住民生活に光をそそぐ交付金」などを財源に緊急的な予算措置を行うべく、一般会計四億七千六百十万円などの補正予算が提案された。この予算を臨時議会で審議した結果、全会一致で承認した。

この予算は大半を23年度に繰り越して事業を行う予定。主なものは次の通り。

平成22年度 2月臨時議会

◎一般会計補正予算 (第4号)

★消防防災対策事業

六百七十七万円

★児童福祉施設設備整備事業

四百三万円

(保育園・児童館への地デジ対応テレビ等購入ほか)

★社会福祉施設整備事業

業

四百二十万円

(あさひが丘駐車場整備ほか)

★観光施設整備事業

七百六十万円

(柵原鉾山公園修繕ほか)

★生活道路整備事業

四千七百九十二万円

(町道大山本線改良工事ほか)

★河川施設整備事業

四百九十万円

(高峰川改修工事ほか)

★支所施設整備事業

一億六千八百万円

(柵原総合支所移転工事ほか)

★教育施設整備事業

一億六千六百八十万円

(加美小学校ランチルーム新築、小・中学校教室エアコン設置)

★社会教育施設整備事業

千八百八十五万円

(旧打穴小学校グラウンド・体育館改修工事)

事ほか)
★弱者対策支援体制強化事業
三百八十万円
(DV情報管理利用システム構築ほか)

★社会教育施設整備事業
千八十万円
(西幸公民館改修ほか)

★図書館整備事業
千三百九十万円
(図書購入ほか)

★下水道施設周辺整備事業
九百万円
(柵原公共下水道処理施設周辺整備)

◎3簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)
千五十二万円
(旭地区水道施設WEB監視設備新設ほか)

一般会計予算
総額は百二十億円

これにより、一般会計の総額は百二十億七千九百十八万円となった。



町民の皆さんこんにちは サークル紹介第11回 バレーボールは生活のビタミン剤！

町体協・柵原支部バレーボール部



町内のサークルを紹介します。
楽しいサークル、ユニークなグループご連絡ください。
議会広報委員がおじゃまします。

いつ頃から活動していますか

チーム結成は昭和52年、今年で34年目を迎える歴史と伝統あるチームです。

どんな活動をしていますか

毎週水曜日に、柵原西小学校体育館で練習しています。町大会・招待試合のほかに美作地区家庭婦人連盟へも登録し、昨年は15試合を消化しました。

メンバー構成は

20代から40代まで女性16人の仲間で楽しみながら仲良く頑張っています。

メンバーの中には美作地区家庭婦人連盟の副会長がいますよ。

活動を始めたきっかけは

スポーツが好き、バレーボールが好き。そんな仲間達が集まって一つのチームが誕生しました。

楽しいことは何ですか

絶対に負けられない試合に勝てたときの達成感、そのあとのおしゃべりタイムはとっても楽しいです。

最近嬉しかったことは

昨年の「OHK杯美作地区予選」では、クラス代表となり岡山県大会に進むことができました。

これからの活動は

バレーボールは生活のビタミン剤。

生涯スポーツとして楽しみ、バレーボールができる環境を与えてくれている家族に感謝しながら、チームワークを大切に、仲間と自分を信じ、一球入魂です。

議会に一言

住みよい美咲町、元気な美咲町になるように期待しています。

攻守そろったチームワークで美咲町にスポーツの花を咲かせてください！！

編集後記

今年の成人の日には、全国で百二十四万人の新成人が誕生したそうです。美咲町は現在お盆成人式を行っていますが、これを1月に戻してはどうかという検討が実施されています。

成人式の開催時期について現役の高校3年生女子学生十人に個人的に聞いてみたところ、夏開催五人、冬開催五人と見事に分れました。

夏が良い理由は「派手にならず気軽に行ける」、冬が良い理由は「他市町の友人と共に成人としてのけじめが付く」というものでした。皆さんはどうお考えになりますか。(松田記)

議会広報編集特別委員会

委員長 松田 英二

副委員長 小島 洋征

岩野 正則

金谷 高子

草苅 良明

松島 啓